

総合政策学部 カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

<カリキュラム・ポリシー>

総合政策学部のディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけるため、次の教育課程を編成します。

- ①市民と行政が共に担う地域の課題を知り、その解決策を考える公共政策専攻、文化的側面や社会現象から社会問題をとらえ、その解決策を考える人文社会専攻、企業が直面するビジネス上の課題を発見し、その解決策を考える経営戦略専攻の三専攻をおく。
- ②政策科学を系統的に学ぶため、学部基礎科目および専攻間共通科目をおくとともに、各専攻に、社会問題を考えるための理論的基礎を学ぶ基盤科目群、社会問題を理解するため個別のテーマに沿って体系的知識を学ぶ展開科目群、社会問題の解決に向けて実践的に政策提言を学ぶ実践科目群を設置する。
- ③4年間を通してゼミを必修科目とし、ディスカッションや共同研究を通して他者とコミュニケーションをとり協力して事業を遂行する力を養う。
- ④全員が卒業研究に取り組み、研究報告や成果作成を通して論理的思考力と自己表現する力を養う。

<ディプロマ・ポリシー>

複雑で流動的な現代社会では、国際的な視野に立って多岐にわたる課題を発見し、原因を解明し、人々と協力して解決に導くリーダーとなる人材が求められています。総合政策学部は次にあげる能力をそなえ、社会や地域の課題解決に貢献できる人物に学士（総合政策）の学位を授与します。

- ①人文・社会科学の広範な教養をそなえ、社会や地域の課題を発見し、原因を解明して解決方法を考える政策科学の学識を身につけている。
- ②多様なバックグラウンドをもつ他者とコミュニケーションをとり、協力して事業を遂行する力を身につけている。
- ③論理的思考力と、プレゼンテーションを通して自己表現する力を身につけている。